

令和5年度 岩手県立盛岡農業高等学校経営計画

校長： 菊池 郁聡

1 校訓・教育目標		【校是】「勸農晨起」 【校訓】「質実剛健」 「自治協同」 【教育目標】 自然と向き合い命を育むことを基盤に据えた教育活動を通じて、生徒一人ひとりの心に豊かな人生の実現に繋がる真の強さと優しさを培う。		
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	・農業に関する学習により、農業に関する資質・能力の向上を図るとともに人間力を育成する。 ・生徒会活動や農業クラブ活動により、持続可能な社会の形成者として自立し生き抜く能力を育成する。		
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	・農業に関する専門的分野について深く学び、農業に関する資質・能力を高める。 ・1年次では専門分野の興味・関心を高める。 ・2年次では探究学習により主体性を高める。 ・3年次では課題解決力を高める。 ・持続可能な循環型農業の実現に向けて、すべての生徒がその知識や手法を学ぶ。		
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	・農業や食産業、地域の特産物開発、自然環境に興味・関心を持ち、体験的な学習や実験・実習に積極的に取り組む生徒。 ・本校での学びをさらに大学等で深く専門的に学ぶ意欲や、地域産業の発展に貢献しようとする熱意を持った生徒。		
3 魅力化協働パートナー		セブンスヘブンファーム (畜産農場)、岩手大学、白石食品工業 (株) 特別養護老人ホームはなみずき、滝沢里山研究会		
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		
		達成指標		
		ア 確かな学力を育む教育実践と専門教育の魅力発信及び高大連携の推進	・授業がわかりやすいと感じる生徒の割合【80%以上】	
		イ 豊かな人間性と生きる力を育成	・豊かな心を育むような教育指導を行っていると感じる保護者の割合【80%以上】	
		ウ 地域に貢献する人材を育てるキャリア教育の充実	・希望進路達成の割合【90%以上】	
		エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	・先生は悩みや相談に親身になって対応してくれると感じる生徒の割合【80%以上】	
	オ 共に学び、共に育つ生徒理解の推進	・学校生活が充実していると感じる生徒の割合【80%以上】		
	(2) 取組方針	ア 確かな学力を育む教育実践と専門教育の魅力発信及び高大連携の推進 (ア) 分かる授業のための授業改善と、教員の授業力向上を推進する。 (イ) 課外・個別指導等の充実と、生徒の特性を把握した適切な学習支援体制の確立。 (ウ) 高大連携や研究機関等との連携による教育実践の推進を図る。 (エ) 専門教育の魅力の情報発信強化と体験入学の工夫を図る。		
		イ 豊かな人間性と生きる力を育成 (ア) 「挨拶の励行」「時間厳守」「整理整頓」等基本的な生活習慣や社会規範の確立を目指す。 (イ) 生徒会や農業クラブ活動等を推進し、コミュニケーション能力や心身の育成を図る。 (ウ) 農業を中心に地域産業を支える個性豊かで創造性に富む人材を育成する。		
		ウ 地域に貢献する人材を育てるキャリア教育の充実 (ア) 3年間を見通した指導計画に基づいた進路指導やキャリア教育を進める。 (イ) 適性理解に努めるとともに、目標実現のための能力を備えさせ、社会人としての生きる力を育てる。 (ウ) 特別専攻科教育を通して農業技術や経営能力の向上を図り、農業と地域社会に貢献できる担い手を育成する。		
エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの未然防止と適切な対処 (ア) 日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見と積極的な認知に努める。 (イ) 生徒が主体的に活動する場面を多くし、自己存在感や充実感を感じられる授業づくりを目指す。 (ウ) 保護者への丁寧な対応と連携を図る。				
オ 共に学び、共に育つ生徒理解の推進 (ア) 指導及び情報の共有化、早期の相談支援と組織的対応を図る。 (イ) 家庭及び中学校等の関係機関との連携による生徒理解を推進する。 (ウ) 寮教育を活用した「居場所づくり」と「絆づくり」を推進し、他者理解の支援を行う。				